

## 熱帯太平洋十年規模変動（TPDV）における ENSO 振幅の数十年変調の影響 Interdecadal Amplitude Modulation of ENSO and its Impacts on TPDV

尾形 友道<sup>1\*</sup>

OGATA, Tomomichi<sup>1\*</sup>

<sup>1</sup> 筑波大学生命環境科学研究科

<sup>1</sup> Faculty of Life and Environmental Sciences, University of Tsukuba

熱帯太平洋における重要な気候変動モードである ENSO は、振幅や伝播特性、周期において数十年スケールでの変動が見られる事が知られており、不安定解析や簡略化した大気海洋結合モデルを用いて平均場の変化に対する ENSO 応答の変化として種々の先行研究がなされた (e.g. Fedorov and Philander 2001, Burgman et al. 2008)。一方、熱帯太平洋における主要な長期変動として、熱帯太平洋十年規模変動（TPDV）が知られている。最近の研究では、CGCM を用いた ENSO と TPDV の相互作用についても議論されており (e.g. Rodgers et al. 2004, Choi et al. 2009)、ENSO は平均場である TPDV にも作用する事が指摘されている。しかしながら、TPDV における ENSO 変調の役割について定量的には未だ評価されていない。今回は ENSO 変調と TPDV との関係について GFDL-CM2.1 の長期積分から確認し、OGCM の感度実験を通して TPDV における ENSO の振幅変調の影響について評価した。

キーワード: 大気海洋相互作用, 熱帯海洋, ENSO

Keywords: air-sea interaction, tropical ocean, ENSO